



しろしたこうさく 城下広作県政報告誌

県民の身近な代弁者
熊本県会議員



熊本県庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-383-1111
(内線2008)

県民の身近な代弁者

2012年 3月発行

第 49 号



ご挨拶

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃は大変お世話になっております。

さて、2月定例県議会も3月2日に閉会し、県知事選の関係で暫定予算となりましたが、25日、公明党も全面支援した、満島知事が2期目の当選を果たしました。知事には、6月定例県議会で景気・雇用対策など熊本が元気になる予算確保の取り組みを訴えて参る所存です。また、熊本市は4月1日から全国20番目の政令市になり、昨年の新幹線全線開業とともに全国に熊本の存在を大きくアピールする絶好の機会が訪れ、この効果を県下全域に波及させようと決意しています。一方、国政に目を向けると消費税導入を巡り与野党の攻防が展開される中、解散総選挙も想定されることから、次こそ国民や県民に目を向けた政治家が選ばれるよう闘って参る所存です。

熊本県議会議員 城下広作

県議会報告

【文教治安常任委員会】に所属

県民の安心安全を守る警察関係、県立高校や養護学校を中心とした教育に関する問題を審議する委員会です。まず、警察関係では、最近身近なところでも凶悪犯罪が増え、県民の皆さんが不安を抱えておられる現状から、犯罪の起こりにくい警察機能の充実を訴えて参ります。また、熊本市北区内に北警察署の建設を主張して参ります。教育関係では、県下の県立高校の統廃合の在り方が問題になっています。地元の意見を参考にして参ります。

【環境対策特別委員会】に所属

一部民間企業の不適切な産業廃棄物処理をきっかけに、最終処分場の公共関与施設が取りざたされて、建設地の決定と建設着工を見届けるまで環境関係の特別委員会に所属してきました。およそ9年の歳月が経って、本年やっと建設の運びとなりましたが、今後は、安全管理の問題、ソーラーパネルの設置による環境配慮のモデル施設の役割など、県民に信頼される施設としての在り方を訴えて参る決意です。また「がれき処理」の受け入れ問題等も活発に論議して参ります。

【県監査委員】

08年に引き続き議会選出の監査委員に選出されました。

適正な事務処理、費用対効果を見据えた取り組みの有無など、しっかり対応して参ります。

ドクターヘリ導入に尽力

今年1月から待ちに待ったドクターヘリが運航しました。平成22年2月の定例県議会、代表質問で一日も早い導入と基地病院の決定、防災消防ヘリとドクターヘリの連携について質問を行いました。県は双方のヘリの新たな搬送体制を整備し、飛躍的な救命率を高めるなどの期待が寄せられています。写真は、基地病院となった熊本赤十字病院屋上でのドクターヘリです。



地下水保全条例改正に尽力

「命をつなぐ地下水の保全強化へ」…。当選2年目の平成13年3月の代表質問で熊本地域は殆どの生活用水が地下水で賄われていることを指摘、受益者負担や取水量の正確な把握、地下水涵養など強力に訴え、その後も度々取り上げた結果、この2月議会で「地下水保全条例」が改正されることになりました。写真は地下水涵養を進める企業視察の様態です。



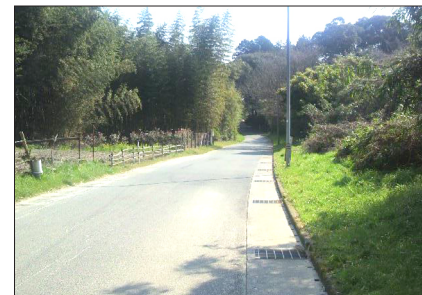
龍田小正門付近ガードパイプ設置を推進

熊本市立龍田小学校正門付近の歩道では、車道と歩道部の境に段差があるにも拘らず、歩行者の安全を守るガードパイプが設置されていませんでした。PTA・自治会・学校関係者の協力を頂き、約9百名を超える署名を集め、3月28日熊本県土木事務所所長に早期の設置を要請する陳情書を手渡しました。県としては前向きに検討すると返事を頂きました。



県立北高付近の市道改良を推進

県立北高の生徒が通学路としても利用する市道が竜田山系の北側に面するため昼間でも薄暗く道幅も狭いため、以前から防犯対策や道路拡幅の要望が絶えませんでした。地域の方も一日も早い改善を求めておられ、県や市当局には現場を調査させていますが、今後も地域の方と連携をとり、安全な市道に改良されるよう全力で訴えて参ります。



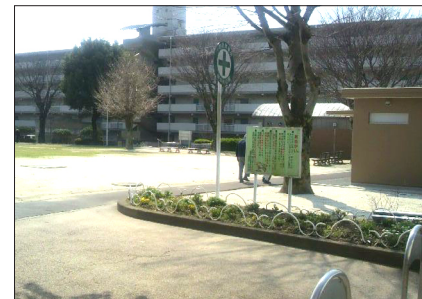
池亀踏切の存続が決定！

池亀地域では、在来線を通り抜けるため池亀踏切が存在しました。しかし、九州新幹線全線開業に伴い、従来の池亀踏切を無くすとの動きがありましたが、地元の方の意見は、もし踏切がなくなれば、池亀地域は陸の孤島になると強く反発されていました。そこで、地元の要望を受け、自治会役員の皆様と再三再四県や市に踏切の必要性を訴え続け、この3月存続の方針が決定しました。



防災訓練に参加しました。

3月4日(日)毎年恒例の楠校区の防災訓練が楠中央公園で実施されました。昨年に引き続き参加させて頂きましたが、特に今年は昨年の訓練の後に起こった「東日本大震災」を受けた後の訓練だけに、真剣な眼で訓練されていた参加者がとても印象的でした。県の防災対策もしっかり取り組んで参ります。



●**ホットライン**《お気軽にご相談ください》

県議会/096(383)1111(内線2008)・携帯電話/090-8661-7722

●**ホームページ** <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●**メール** shiroshita@kumamoto-komei.net